
社会福祉法人なごみ福祉会の取組み

共に生き、共に育つ

障がいのあるなしに関わらず、どんな人でも安心して暮らし、その人らしく生き、お互いを認め合う。それがきっと、みんなの幸せに繋がっている。それが私たち、なごみ福祉会が大切にしている思いです。

利用者の方も、家族の方も、職員の方も、地域の方も、ここからがあったから安心できた、楽しかった、考え方が変わった、出会いがあった、成長できた。そんなふうに思ってもらえる場を目指しています。

障がいがあってもなくても、地域で安心して、そして自分らしく生き生きと、お互いを認め合いながら。共に生き、共に育っていく。
その思いの輪が、ここから始まり、広がっていくよう、私たちは一生懸命前に進み続けます。



企業概要

- 企業名

- 社会福祉法人 なごみ福祉会（東京都内の障害福祉事業は世田谷区で運営）

- 実施事業

- 児童発達支援・放課後等デイサービス・共同生活援助・短期入所・居宅介護・移動支援・生活介護・就労継続支援B型など
- 保育事業（保育所、子育て支援センターなど）

- 社員数

- 約500名（うち非常勤200名程度）
- 障害福祉事業の従事者50名程度

なごみ福祉会は、
一人のお母さんの願いから
始まりました。



採用に向けた取り組み

● 本採用前に3日間の体験実習

- 採用フローは、①見学、②面接、③体験実習（3日間）を標準としており、「業務イメージを共有」し早期離職を予防しています
- 体験実習を通じて、「障害福祉の仕事や職場の雰囲気を知ってもらう」機会としています

● ダブルワークの解禁

- 非常勤だけでなく、正規職員にもダブルワークを解禁しており、「知見や人脈の拡大」などを目的に、副業に取り組む事例も見られます

育成に向けた取組み①

● 障害児担当⇔障害者担当間での合同研修

- 各専門研修に加え、年2回程度は障害児部門と障害者部門が合同で、虐待事例の検証・線引きなどの研修を行っています



放課後等
デイサービス



グループホーム
ここから



短期入所ここから



ヘルプステーション
ここから



相談支援ここから

育成に向けた取り組み②

● 事業所見学により自身の業務を客観的に振り返る

- 自身の取り組みや考え方を客観的に振り返ることを目的に、年に数回、他事業所の見学を行っています
- 仕事上の不安や迷いを職場内外の人脈や知見を通じて解決に導くことで、職員の成長と定着を促します

なごみ福祉会



児童デイサービスここから

見学

他事業所



定着に向けた取組み

- **仕事の負担やプレッシャーを全体で分担する**

- 間接業務の分担や記録システムの導入などにより、負担の軽減・平準化を図っています
- 保護者との面接などプレッシャーがかかる場面では、できるだけ複数で対応しています

